



学校だより

<http://nakamoto-e.saitama-city.ed.jp/>

平成31年度 第1号
さいたま市立仲本小学校
平成31年4月8日

《4月の生活目標》

自分からあいさつをしよう

(バイバイタイム 17:00)

〈学校教育目標〉 進んで学習する子 思いやりのある子 明るく元気な子 <合言葉>「明日が楽しみ 仲本小」
(児童数) 1年133名 2年145名 3年138名 4年143名 5年108名 6年133名 特別支援学級1名 計801名

「いろいろ」

校長 石山 俊之

いよいよ新年度のスタートです。そして新元号も公布されました。何か、これまでより増して新たな気持ちになったのは、私だけではないのではないのでしょうか。

今年度は新1年生133名を迎え、801名の児童とともに「明日が楽しみ 仲本小」の実現に向け教職員一同、尽力して参ります。これまでと同様、保護者・地域の皆様のご理解・ご協力を宜しくお願い致します。

さて、今年度も「学校だより」と「講話朝会」では同じキーワードをもってお伝えしようと思っております。その理由としては、○ 印象をもってもらいたい ○ 子どもたちに向けた話は、教職員はもとより、保護者・地域の方々にも伝えたいとの思いがあるからです。

そして今回のキーワードは「いろいろ」としました。開校87年目を迎える仲本小学校には、50周年以来、毎年「仲本小学校同窓会」のお力添えにより、桜の苗木が植樹されています。品種も異なるため、開花の時期も違えば、花の色・形もそれぞれで、今年も見事に開花し、私たちの心を和ませてくれています。正に「世界に一つだけの花」のフレーズにあるように、それぞれが特別なナンバーワンです。これを学校という社会に置き換えて考えると、いろいろな子どもたち、いろいろな教師、いろいろな家庭などとなります。私は常日頃、特に公立学校には、多様性という特性があると感じています。そして、そのよさを追求していくことが必要であると思っています。

しかし一方で、何か自分の価値観と異なる場面に遭遇した時、「あの人はどうも・・・」などと、他を排除する考えが芽生える事があります。当然、考え方の違いではすまない場合もあるかと思いますが、「他を認める。違いを受け入れる。」との視点は、人と人との関わりの中では大切な土台となるものです。そして、そうした考え方が、多様な変化に対応できる子どもたちの育成に必要となるはずで

「令和」には、「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ」との意味が込められていると言います。子どもも、大人も、それぞれの関わり合いの中で、明るく楽しい、希望に満ちた社会を育みたい。そして、学校とは、そうした場でありたいと思っております。



日	曜	4月の行事予定
1	月	春季休業日
2	火	
3	水	
4	木	
5	金	
6	土	
7	日	
8	月	始業式 入学式 短縮日課2時間(2・3・4・5年/下校11:00~) 短縮日課5時間(6年/下校15:00~)
9	火	特別日課4時間 保健調査・緊急連絡票提出
10	水	学級 短縮4時間 給食開始(2~6年) 登校・安全指導
11	木	1年生を迎える会 6年授業参観・懇談会
12	金	5年授業参観・懇談会
13	土	
14	日	開校記念日
15	月	開校記念日集会 委員会① 1年学級懇談会 「どうぞよろしくなかよし会」(1・2年)
16	火	GS 4年授業参観・懇談会
17	水	児童朝会 1年給食開始 3年授業参観・懇談会
18	木	基礎学 全国学力学習状況調査(6年) 一斉下校(5校時)
19	金	運動 2年授業参観・懇談会 食育の日
20	土	短縮3時間 避難訓練・引取訓練(3校時)
21	日	
22	月	読書(子ども読書の日) クラブ①
23	火	GS 教育相談日 ノーテレビ・ノーゲームデー
24	水	音楽朝会
25	木	GS PTA新旧合同引き継ぎ
26	金	特別日課4時間(1年生) 特別日課6時間(2~6年) 離任式
27	土	
28	日	
29	月	昭和の日
30	火	休日

※健康診断関係は保健だよりをご覧ください。

